

ぬまっこ 号外

～ 笑顔 ～

令和6年11月12日

発行者

校長 三浦 了二

持久走記録会 頑張ります。



11月15日（金）に校内持久走記録会が予定されています。学校では記録会に向けて、本番と同じコースを何回か試走しながら練習を積んでいます。練習のたびに記録を伸ばし、本番でも一人一人が目標達成に向けて精一杯頑張ると思います。保護者の皆様もお時間がありましたら、ぜひ会場まで足を運んでいただき温かいご声援をお願いします。以下、持久走大会に向けた朝会での校長講話の一部になります。

いよいよ金曜日には持久走大会があります。持久走大会のめあては1・2年生のめあては、【最後までがんばりぬく気持ちを持つ】、3・4年生は【自分のペースを考えて走り、最後まで頑張り抜く】、5・6年生は【向上心をもって、目標達成を目指す。】です。

持久走は苦しく、ついやめたいと思ってしまいがちになります。しかし、持久走は頑張った分だけ記録が伸びるばかりか、心も体も強くなります。大切なことは、「がんばり続けること」だということです。本番では、「さぼっちゃえ」ともう一人の自分が心の中で話すこともあります。そんなときでも、その心に負けないで頑張り続け、「自分の心との勝負に勝つ」ことが大切です。「もう無理」とか決めるのは、みんなの心です。持久走大会本番では「無理」という気持ちを持たずに、最後まで頑張ってほしいと思います。

持久走は厳しくつらいですね。誰も助けてくれないし、逃げることもできません。自分しか頼るものがない。だからこそ成長します。「あと少し」、「あと少し」と思いながら走り続ける。このことで心は確実に成長します。この経験はかならずいろいろな場面で自分のためになります。みんなの頑張りを願っています。

6年生「環境出前講座」を行いました。

6年生は、世界農業遺産に認定されている大崎耕土についての環境学習を行いました。子どもたちにとっては、毎日目に見える光景が、実は世界的に認められたものであることなどを改めて教えていただきました。将来的にふるさとを離れる子どもがいるかと思いますが、どこにいてもふるさとを愛し、ふるさとの自然を守っていききたいという思いは持ち続けてほしいと思います。

